# 日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒280 千葉市要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2936番
（公）千葉（22）7207番

91.11.8 No.3490


# 千葉転支部 闘う方針を確立 11月2日 定期大会開催

十一月二日、全支部の先頭を切って、千葉運転区支部の第十五回定期大会が開催された。

大会は、議長に橋本さんを選出、五十嵐支部長のあいさつ（別掲）の後、来賓として、中江船橋市議会議員、中野委員長のあいさつを受け、経過報告・議事に入った。

質疑討論のなかでは、この間の土岐区長による異常な労務政策をはね返し、固い団結を守りぬいてきた自信にふまえた活発な意見が交わされ、満場一致で新たな闘う方針が確立された。

## 決意表明する新役員

新たに選出された支部役員

| | |
|---|---|
| 執行委員長 | 五十嵐和夫 |
| 執行副委員長 | 椿　裕明 |
| 書記長 | 大野　茂 |
| 執行委員 | 久保庭幸平 |
| 〃 | 今井武幸 |
| 〃 | 小倉培次 |
| 〃 | 古川政史 |
| 〃 | 影山和広 |
| 〃 | 宮重芳正 |
| 〃 | 山口世修 |
| 〃 | 中村栄一 |
| 〃 | 仁藤久秋 |
| 〃 | 花崎勤 |
| 特別執行委員 | 永田雅章 |
| 〃・青年部長 | 石渡義浩 |
| 会計監査員 | 池田博 |
| 〃 | 山口俊雄 |

## 五十嵐支部長あいさつ

JRは、株式上場の挫折、赤字問題の深刻化、JR総連の分裂等、経営的に危機にたっている。フューチャー21などとバラ色のようなことを言っているが、やっていることは嵐のような大合理化だ。その極めつけが動乗勤である。これでは年金ももらわないうちに死んでしまう。われわれは労働力は売っても、生命まで売ってはいない。ここで怒らなければ闘いにならない。再び業務移管のうわさも出ている。今一度ふんどしを締め直して闘いの体制を創ろう。また、千葉転は間の集中雨でも、飛び抜けて当局の対応が悪い。土岐区長を追いつめる闘いをやりぬこう。

## 【出された主な意見は、次のとおり】

- すでに、スト通知が行なわれているが、本部は、動乗勤闘争についてどのように考えているのか聞きたい。
- 動乗勤問題の交渉の現状はどうなっているのか。
- 来年のダイ改について、当局はどのような動きをしているのか？
- 千葉運転区では、災害時の出勤等をめぐって全くデタラメな取り扱いが行なわれている今後これ以上このようなことをやらせる訳にはいかない。
- 家族会費があまり使われていないが、どうなっているのか？

## 『公開シンポ』は強制収用へのセレモニー
## 運輸大臣奥田の「いつまでも待てない」発言弾劾

三里塚闘争は、政府・運輸省、空港公団、さらに一部の脱落派による『公開シンポジウム』をめぐる攻防の正念場中の正念場を迎えている。

十一月五日発足した宮沢内閣は、PKO法案の強行成立を狙うとともに、三里塚闘争に対しても、その狂暴な刃を振りかざしてきた。

最も特徴的な点として、運輸大臣に就任した奥田敬和（けいわ）は、就任記者会見で「強制収用はいつまでも待っているわけにはいかない」と公言したのである。『公開シンポ』で「地元農民と議論を尽くした」という体裁をつくり、それでも屈服しなければ『強制収用』で襲いかかろうというのである。まさに『公開シンポ』とは『強制収用』へ向けた一大セレモニーなのである。

現在、空港公団は「できるところから進める」として〝穴あき〟工事を全面的に進め、農民が今も起居する家の軒先までユンボやブルドーザーが横行している。しかし、反対同盟農民は、不屈・非妥協で闘いぬき、『公開シンポ』阻止へ怒りも新たに闘いにたち上がっている。

われわれは、これまで反対同盟が全国の人達に勝利の展望と勇気を与え続けてきたことを考える時〝労農連帯〟の原点に立ち返り、『公開シンポ』粉砕へ全力でたち上がらなければならない。十一・一三闘争へ結集しよう。

『公開シンポジウム』粉砕！PKO法案成立阻止！宮沢政権打倒へ、十一月～十二月を闘いぬこう。

## 公開シンポジウム開催阻止全国総決起集会

十一月十三日・九時　成田駅改札口集合